

METHOD AND SYSTEM FOR ON-LINE SHOPPING SERVICEPatent Number: **JP10269447**

Publication date: 1998-10-09

Inventor(s): TANIGUCHI KAZUHIKO; SHIMANO TOMOO; MIHARA KATSUSHI;
KAGOSHIMA SHUNICHI

Applicant(s):: HITACHI LTD

Requested Patent: ☐ **JP10269447**Application
Number: JP19970075026 19970327

Priority Number(s):

IPC Classification: G07F17/40 ; G06F13/00 ; G06F17/60 ; G07F9/00

EC Classification:

Equivalents:

Abstract

PROBLEM TO BE SOLVED: To enable a user to select required delivery service out of plural delivery service candidates by providing information related to the delivery date and cost of a commodity which are calculated by using commodity stock information and delivery method information to the user.

SOLUTION: A server 202 receives a commodity identifier(ID) and a delivery condition ID transmitted from a client 201 through a communication network 203. Delivery service information corresponding to the received commodity ID and delivery condition ID is retrieved from a storage device 202. The retrieved service information is transmitted to the client 201 through the network 203. The client 201 executes delivery procedure processing corresponding to the received delivery service ID. In the constitution, a user can select his required delivery service from plural delivery service candidates while considering conditions such as the required time and cost of delivery.

Data supplied from the **esp@cenet** database - I2



PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **10269447 A**(43) Date of publication of application: **09 . 10 . 98**

(51) Int. Cl.

G07F 17/40
G06F 13/00
G06F 17/60
G07F 9/00

(21) Application number: **09075026**(22) Date of filing: **27 . 03 . 97**(71) Applicant: **HITACHI LTD**

(72) Inventor:
TANIGUCHI KAZUHIKO
SHIMANO TOMOO
MIHARA KATSUSHI
KAGOSHIMA SHUNICHI

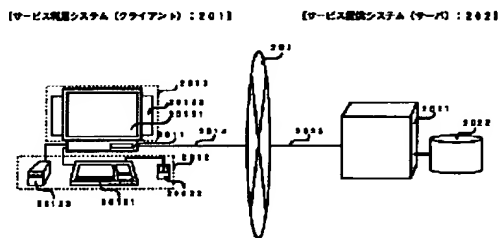
(54) METHOD AND SYSTEM FOR ON-LINE SHOPPING SERVICE

(57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To enable a user to select required delivery service out of plural delivery service candidates by providing information related to the delivery date and cost of a commodity which are calculated by using commodity stock information and delivery method information to the user.

SOLUTION: A server 202 receives a commodity identifier(ID) and a delivery condition ID transmitted from a client 201 through a communication network 203. Delivery service information corresponding to the received commodity ID and delivery condition ID is retrieved from a storage device 202. The retrieved service information is transmitted to the client 201 through the network 203. The client 201 executes delivery procedure processing corresponding to the received delivery service ID. In the constitution, a user can select his required delivery service from plural delivery service candidates while considering conditions such as the required time and cost of delivery.

COPYRIGHT: (C)1998,JPO



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-269447

(43) 公開日 平成10年(1998)10月9日

(51) Int.Cl.⁹

識別記号

F I

G 0 7 F 17/40

G 0 7 F 17/40

G 0 6 F 13/00

3 5 7

G 0 6 F 13/00

3 5 7 Z

17/60

G 0 7 F 9/00

L

G 0 7 F 9/00

G 0 6 F 15/21

3 3 0

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 13 頁)

(21) 出願番号

特願平9-75026

(22) 出願日

平成9年(1997)3月27日

(71) 出願人 000005108

株式会社日立製作所

東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地

(72) 発明者 谷口 和彦

神奈川県川崎市麻生区王禅寺1099番地 株

式会社日立製作所システム開発研究所内

(72) 発明者 嶋野 知生

神奈川県横浜市都筑区加賀原二丁目2番

株式会社日立製作所ビジネスシステム開発

センタ内

(74) 代理人 弁理士 小川 勝男

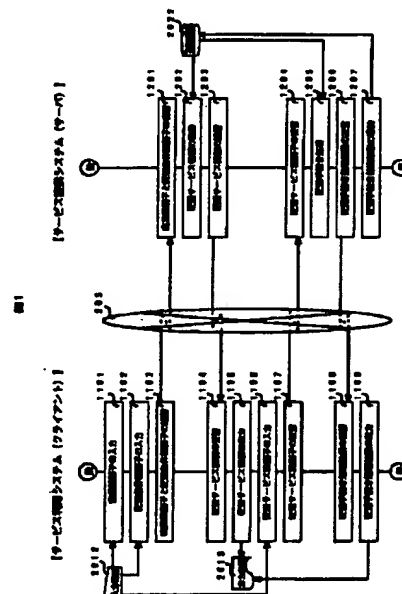
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 オンライン・ショッピング・サービス方法およびシステム

(57) 【要約】

【課題】 オンライン・ショッピング・サービスシステム上での売買契約成立過程において、利用者が、複数の配送サービス候補の中から、希望に応じたものを選択できるようにする方法およびシステムを提供することにある。

【解決手段】 サービスを提供するサービス提供システム（サーバ）と、前記サービスを利用するサービス利用システム（クライアント）とが、通信ネットワークで連結されたオンライン・ショッピング・サービスシステムにおいて、クライアントは、入力装置から商品識別子と配送条件識別子を入力してサーバに送信し、配送サービス情報をサーバから受信し、出力装置から配送サービス情報を出力し、入力装置から配送サービス識別子を入力してサーバに送信し、配送手続き処理結果をサーバから受信し、出力装置から配送サービス処理結果を出力する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 サービスを提供するサービス提供システム（サーバ）と、前記サービスを利用するサービス利用システム（クライアント）とが、通信ネットワークで連結されたオンライン・ショッピング・サービスシステムにおいて、

前記クライアントは、

入力装置から、商品識別子を入力し、

前記入力装置から、配送条件識別子を入力し、

前記商品識別子と前記配送条件識別子を、前記通信ネットワークを介して、前記サーバに送信し、

前記商品識別子と前記配送条件識別子に対応する配送サービス情報を、前記通信ネットワークを介して、前記サーバから受信し、

出力装置から、前記配送サービス情報を出力し、

前記入力装置から、前記クライアントの利用者が希望する配送サービス識別子を入力し、

前記配送サービス識別子を、前記通信ネットワークを介して、前記サーバに送信し、

前記配送サービス識別子に対応する配送手続き処理結果を、前記通信ネットワークを介して、前記サーバから受信し、

前記出力装置から、前記配送手続き処理結果を出力し、

前記サーバは、

前記商品識別子と前記配送条件識別子を、前記通信ネットワークを介して、前記クライアントから受信し、

前記商品識別子と前記配送条件識別子に対応する配送サービス情報を、記憶装置から検索し、

前記配送サービス情報を、前記通信ネットワークを介して、前記クライアントに送信し、

前記配送サービス識別子を、前記通信ネットワークを介して、前記クライアントから受信し、

前記配送サービス識別子に対応する配送手続き処理を実行し、

前記配送手続き処理結果を、前記通信ネットワークを介して、前記クライアントに送信し、

前記配送手続き処理結果を、前記記憶装置に格納する、ことを特徴とするオンライン・ショッピング・サービス方法。

【請求項2】 請求項1に記載のオンライン・ショッピング・サービスシステムにおいて、前記クライアントは、入力装置と、出力装置と、前記装置群を制御する入出力インターフェースと、通信インターフェースとを備える、ことを特徴とするオンライン・ショッピング・サービスシステム。

【請求項3】 請求項1に記載のオンライン・ショッピング・サービスシステムにおいて、前記サーバは、記憶装置と、前記記憶装置を制御する入出力インターフェースと、通信インターフェースとを備え、

前記記憶装置に格納した配送サービス情報を検索する手

段と、

配送手続き処理を実行する手段と、

前記記憶装置に配送手続き処理結果を格納する手段とを備える、ことを特徴とするオンライン・ショッピング・サービスシステム。

【請求項4】 請求項1に記載のオンライン・ショッピング・サービスシステムにおいて、前記配送サービス情報は、

クライアントの利用者が希望する商品の配送に関して、

利用者の配送希望日時を満たす複数の配送サービス候補の、

配送予定日時や費用などに関する情報である、ことを特徴とするオンライン・ショッピング・サービスシステム。

【請求項5】 請求項1に記載のオンライン・ショッピング・サービスシステムにおいて、前記サーバは、

少なくとも一つ以上の在庫拠点における商品在庫情報と、

配送先住所や配送希望日等の配送条件と、

輸送方法データと、

配送方法データとを用いて、

利用者の配送希望日時を満たす複数の配送サービス候補を検索する、ことを特徴とするオンライン・ショッピング・サービスシステム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、オンライン・ショッピング・サービスシステムに関わり、特に、サービスの利用者が、複数の配送サービス候補から、配送所要時間や費用等の条件を加味して、利用者の希望する配送サービスを選択出来るようにする方法およびシステムに関する。

【0002】

【従来の技術】 オンライン・ショッピング・サービスシステムの代表例としては、インターネットを介したホームショッピング・システムがある。近年、通信ネットワークを始めとする情報インフラの整備と、パーソナル・コンピュータの家庭や職場への普及により、インターネットを介した情報流通が盛んになっている。また、インターネット上でのオンライン・ショッピング・システムでは、商品情報の提供および享受段階から売買契約成立段階までに、時間的・空間的な制約を受けない。このため、消費者に対しては、商品選択・購買範囲等を、一方、小売業者に対しては、情報提供範囲や販売機会等を拡大させており、その結果、インターネット上でのオンライン・ショッピング・サービスシステムの利用機会が、一般消費者にも広く浸透している。オンライン・ショッピング・サービスシステムでは、システムの利用者（消費者）は、インターネットを介して家庭や職場に設置されたパーソナル・コンピュータから小売業者のホー

10

20

30

40

50

ムページにアクセスし、商品に関する情報提供を受け、気に入った商品があれば、インターネットを介してその注文情報を小売業者に送信し、売買契約を成立させる。小売業者は、利用者からの注文情報に基づき、商品在庫拠点への在庫確認や出荷指示、配送業者への配送手配処理等を実行し、配送業者による配送が完了した時点で、商物過程を完結させている。ここで、配送業者は、広域に張り巡らされた輸配送ネットワークを利用して、受託商品の配送を実行している。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】インターネットを利用したオンライン・ショッピング・サービスシステムでは、利用者は、売買契約成立過程での商品在庫情報や、配送先までの輸配送方法に関する情報を提供されない。このため、利用者は、商品在庫の有無による在庫拠点からの出荷日時の変動や、輸配送方法別の輸配送時間の相違により、輸配送所要時間を予め把握することが困難であった。また、利用者に対しては、「一定期間を経た後であれば配送可能」という情報のみ提供されるため、利用者が、緊急の商品配送を希望している場合であっても、「最速での配送可能日時」を把握することは困難であった。

【0004】本発明の目的は、オンライン・ショッピング・サービスシステム上での売買契約成立過程において、利用者に対して、商品在庫情報と輸配送方法情報を用いて算出した、商品の配送日時と費用に関する情報提供を行い、利用者が、複数の配送サービス候補の中から、希望に応じたものを選択できるようにする方法およびシステムを提供することにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記目的は、サービスを提供するサービス提供システム（サーバ）と、前記サービスを利用するサービス利用システム（クライアント）とが、通信ネットワークで連結されたオンライン・ショッピング・サービスシステムにおいて、クライアントは、入力装置から商品識別子を入力し、入力装置から配送条件識別子を入力し、商品識別子と配送条件識別子をサーバに送信し、商品識別子と配送条件識別子に対応する配送サービス情報をサーバから受信し、出力装置から配送サービス情報を出力し、入力装置から配送サービス識別子を入力し、配送サービス識別子をサーバに送信し、配送サービス識別子に対応する配送手続き処理結果をサーバから受信し、出力装置から配送サービス処理結果を出力し、一方、サーバは、クライアントから送信された商品識別子と配送条件識別子を受信し、商品識別子と配送条件識別子に対応する配送サービス情報を記憶装置から検索し、配送サービス情報をクライアントに送信し、クライアントから送信された配送サービス識別子を受信し、配送サービス識別子に対応する配送手続き処理を実行し、配送手続き処理結果をクライアントに送信

し、配送手続き処理結果を記憶装置に格納することにより、達成される。

【0006】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施例を図面に基づいて詳細に説明する。

【0007】図1は本発明の第1の実施例を示す処理フローである。図2は本実施例を実現するための装置構成を含むオンライン・ショッピング・サービスシステムの全体イメージ図である。

10 【0008】まず図2に示すオンライン・ショッピング・サービスシステムの全体イメージ図に関して説明する。オンライン・ショッピング・サービスシステムは、サービス利用システム（クライアント）201とサービス提供システム（サーバ）202とが、通信ネットワーク203で連結されたシステムである。

【0009】（1）クライアント201の装置構成
クライアント201の装置構成は、計算機2011に、入力装置2012、出力装置2013、通信ケーブル2014を接続したものである。入力装置2012は、キーボード20121、マウス20122、ICカードリーダ20123 ICカードリーダ20123は、ICカードに配送条件識別子を電子的に格納している場合や、電子マネーを用いて決済を行う場合に必要となるので、配送条件識別子の入力や、クレジットカードを用いて決済を行う場合のクレジット番号の入力を、キーボード20121から行う場合にはなくてもよい。出力装置2013は、ディスプレイ20131、スピーカ20132を組み合わせたものである。スピーカ20132は、サーバから送信される情報が音声を伴う場合に必要となるので、そうでない場合にはなくてもよい。当然のこととして、本発明を実施するために製作した専用装置であっても、上述のような周辺機器の機能が充足されていればよい。

【0010】（2）サーバ202の装置構成
サーバ202の装置構成は、計算機2021に、記憶装置2022、通信ケーブル2023を接続したものである。サーバ202は、同時に多数の利用者へサービスを提供するため、クライアント201と比較して、さらに高速・大容量の計算機システムであることが望ましい。具体的には、大型計算機、高性能ワークステーションがよい。

【0011】次に、図2を引用しながら、図1の処理フローに従い、本実施例における処理動作を説明する。

【0012】（1）クライアント201の処理動作
入力装置2012から、商品識別子を入力する（ステップ1101）。入力装置2012から配送条件識別子を入力する（ステップ1102）。入力した商品識別子と配送条件識別子を、通信ネットワーク203を介して、サーバ202に送信する（ステップ1103）。商品識別子と配送条件識別子に対応する配送サービス情報を、

通信ネットワーク203を介して、サーバ202から受信する(ステップ1104)。出力装置2013から、受信した配送サービス情報を出力する(ステップ1105)。入力装置2012から、配送サービス識別子を入力する(ステップ1106)。入力した配送サービス識別子を、通信ネットワーク203を介して、サーバ202に送信する(ステップ1107)。配送サービス識別子に対応する配送手続き処理結果を、通信ネットワーク203を介して、サーバ202から受信する(ステップ1108)。出力装置2013から、受信した配送手続き処理結果を出力する(ステップ1109)。

【0013】(2)サーバ202の処理動作

通信ネットワーク203を介して、クライアント201から送信された商品識別子と配送条件識別子を受信する(ステップ1201)。受信した商品識別子と配送条件識別子に対応する配送サービス情報を、記憶装置2022から検索する(ステップ1202)。検索した配送サービス情報を、通信ネットワーク203を介して、クライアント201に送信する(ステップ1203)。通信ネットワーク203を介して、クライアント201から送信された配送サービス識別子を受信する(ステップ1204)。受信した配送サービス識別子に対応する配送手続き処理を実行する(ステップ1205)。配送手続き処理結果を、通信ネットワーク203を介して、クライアント201に送信する(ステップ1206)。配送手続き処理結果を、記憶装置2022に格納する(ステップ1207)。

【0014】以上、第1の実施例によれば、サービスの利用者が、複数の配送サービス候補から、配送所要時間や費用等の条件を加味して、利用者の希望する配送サービスを選択することが可能となる。

【0015】第2の実施例として、インターネット上で下記のオンライン・ショッピング・サービスシステムに、本発明を適用する場合について詳細に説明する。

【0016】本システムの構成は、第1の実施例と同様に、クライアント201とサーバ202を、通信ネットワーク203で連結した構成になっている。図3および図4は、クライアントおよびサーバの処理フロー図である。両者は、互いにデータや情報を送受信することにより、自らの処理ステップの同期を取っている。以下では、本システム全体の処理フローを、両者の処理ステップの同期を考慮しながら、時間順に説明する。

【0017】＜クライアント・ステップ3001＞商品識別子の入力

予め、ディスプレイ20131上に、商品紹介情報を出力しておく。図5は、商品紹介情報の出力方法を示すイメージ図である。ディスプレイ20131の画面501は、3つのエリア(商品イメージエリア502、商品属性表示エリア503、コマンドエリア504)に分割している。このとき、利用者は、出力中の商品紹介情報の

中に購入を希望する商品を見つけた場合に、当該商品の商品イメージエリア502をマウス20122で選択する。クライアント201は、このとき選択された商品イメージ「チューリップ(オランダ産)」を、利用者が購入を希望する商品の商品識別子と見なす。

【0018】＜クライアント：ステップ3002＞配送条件識別子の入力

利用者が、コマンドエリア504内の配送条件設定開始ボタン5041をマウス20122で選択することで、ディスプレイ20131上に、配送条件設定画面を出力する。図6は、配送条件設定画面を示すイメージ図である。ディスプレイ20131の画面601は、6つのエリア(商品イメージエリア602、商品属性表示エリア603、依頼人属性入力エリア604、配送先属性入力エリア605、配送希望日時入力エリア606、支払い方法入力エリア607、コマンドエリア608)に分割している。このとき、利用者は、依頼人属性入力エリア604、配送先属性入力エリア605、配送希望日時入力エリア606および支払い方法入力エリア607に、入力装置2012から必要情報を入力し、マウス20122でコマンドエリア608中の配送条件設定終了ボタン608を選択する。クライアント201は、このとき依頼人属性入力エリア604、配送先属性入力エリア605、配送希望日時入力エリア606および支払い方法入力エリア607に入力された情報を、利用者の希望する配送条件識別子と見なす。

【0019】＜クライアント：ステップ3003＞商品識別子と配送条件識別子の送信

通信ネットワーク203を介して、入力装置2012で入力した商品識別子と配送条件識別子を、サーバ202に送信する。

【0020】＜サーバ：ステップ4001＞商品識別子と配送条件識別子の受信

通信ネットワーク203を介して、クライアント201から送信されてきた商品識別子と配送条件識別子を、受信する。

【0021】＜サーバ：ステップ4002＞配送サービス情報の検索

商品識別子と配送条件識別子に基づき、利用者に提供する配送サービス情報を記憶装置2022から検索する。ここで、配送サービス情報は、利用者の希望する商品の配送に関して、サービス利用者の配送希望日時を満たす複数の配送候補案の、配送予定日時や費用などを示したものである。

【0022】＜サーバ：ステップ4003＞配送サービス情報の送信

通信ネットワーク203を介して、サーバ202で検索した配送サービス情報を、クライアント201に送信する。

【0023】＜クライアント：ステップ3004＞配送

サービス情報の受信

通信ネットワーク203を介して、サーバ202から送信されてきた配送サービス情報を、受信する。

【0024】＜クライアント：ステップ3005＞配送サービス情報の出力

受信した配送サービス情報を、ディスプレイ20131から出力する。図7は、配送サービス情報の出力方法を示すイメージ図である。ディスプレイ20131の画面701は、7つのエリア（商品イメージエリア702、商品属性表示エリア703、配送先属性表示エリア704、配送希望日時表示エリア705、支払い方法表示エリア706、配送サービス情報リスト表示エリア707、コマンドエリア708）に分割してある。

【0025】＜クライアント：ステップ3006＞購入意思による条件分岐

利用者に購入意思がない場合は、すべての処理を終了する。一方、購入意思がある場合には、ステップ3007を実行する。

【0026】＜クライアント：ステップ3007＞配送サービス識別子の入力

利用者は、出力中の配送サービス情報中の配送サービス情報リスト表示エリアから、希望する配送サービスをマウス20131で選択する。クライアント201は、このとき選択された配送サービスを、利用者の希望する配送サービス識別子と見なす。

【0027】＜クライアント：ステップ3008＞配送サービス識別子の送信

通信ネットワーク203を介して、入力装置2012で入力した配送サービス識別子を、サーバ202に送信する。

【0028】＜サーバ：ステップ4004＞配送サービス識別子の受信

通信ネットワーク203を介して、クライアント201から送信されてきた配送サービス識別子を、受信する。

【0029】＜サーバ：ステップ4005＞配送手続き処理の実行

サーバ202は、送信されてきた配送サービス識別子に基づき、利用者の希望する配送サービスを実行するための配送手続き処理を実行する。

【0030】＜サーバ：ステップ4006＞配送手続き処理結果の送信

通信ネットワーク203を介して、配送手続き処理結果を、クライアント201に送信する。

【0031】＜クライアント：ステップ3008＞配送手続き処理結果の受信

通信ネットワーク203を介して、サーバ202から送信されてきた配送手続き処理結果を、受信する。

【0032】＜クライアント：ステップ3009＞配送手続き処理結果の出力

受信した配送手続き処理結果を、ディスプレイ2013

1から出力する。図8は、配送手続き処理結果の出力方法を示すイメージ図である。ディスプレイ20131の画面801は、7つのエリア（商品イメージエリア802、商品属性表示エリア803、配送先属性表示エリア804、配送予定日時表示エリア805、利用金額表示エリア806、支払い方法表示エリア807、コマンドエリア808）に分割してある。

【0033】＜サーバ：ステップ3009＞配送手続き処理結果の格納

配送手続き処理結果を、記憶装置2022に格納する。

【0034】以下、図4の処理フローのうち、ステップ4002（配送サービス情報の検索）の処理動作について、図9に示す処理フローに従って詳細に説明する。

【0035】（1）ステップ40021（商品在庫情報の取得）

サーバ202が受信した商品識別子に基づき、商品在庫情報を、記憶装置2022上の商品在庫DB10001から検索する。図10に、商品在庫DB10001の論理構造を示す。商品番号10002と、在庫拠点名称10003と、在庫拠点住所10004と、在庫数量10005と、入荷予定日10006と、入荷予定数量10007を登録してある。商品識別子と商品番号10002が一致するレコードを抽出し、商品在庫情報ファイル11001に格納する。図11に、商品在庫情報ファイルの論理構造を示す。在庫拠点名称11002と、在庫拠点住所11003と、在庫数量11004と、入荷予定日11005と、入荷予定数量11006を登録する。

【0036】（2）ステップ40022（輸配送経路情報の取得）

商品識別子と商品番号10002が一致するレコードの、在庫拠点名称10003と、クライアント201から送信された配送条件識別子に基づき、輸配送経路情報を、記憶装置2022上の輸送方法DB12001および配送方法DB13001から検索する。図12に、輸送方法DB12001の論理構造を示す。輸送方法番号12002、輸送発地名称12003、輸送発地住所12004、輸送着地名称12005、輸送着地住所12006、輸送機関名称12007、輸送形態12008、輸送発時刻12009、輸送着時刻12010、輸送単価12011を登録してある。図13に、配送方法DB13001の論理構造を示す。配送方法番号13002、配送拠点名称13003、配送拠点住所13004、配送地域名称13005、配送形態13006、配送発時刻13007、配送所要時間13008、配送単価13009を登録してある。図14に、ステップ40022の詳細フローを示す。

【0037】（2.1）ステップ400221（届け先地域を担当する配送方法番号の取得）

配送方法DB13001から、サーバが受信した配送条

件識別子内の配送先属性の「住所」情報と、配送方法DB13001内の配送地域名称13005が一致するレコードを全て検索し、当該レコードの配送方法番号13002を取得する。

【0038】(2.2)ステップ400222(配送方法候補の取得)

ステップ400221で取得した全ての配送方法番号13002に基づき、配送方法DB13001から、配送拠点名称13003と、配送形態13006と、配送発時刻13007と、配送所要時間13008と、配送単価13009を取得し、配送方法候補ファイル15001に格納する。図15に、配送方法候補ファイル15001の論理構造を示す。配送方法番号15002と、配送拠点名称15003と、配送形態15004と、配送発時刻15005と、配送所要時間15006と、配送単価15007を登録する。

【0039】(2.3)ステップ400223(輸送方法候補の取得)

ステップ40021で取得した商品在庫情報ファイル11001と、輸送方法DB12001から、輸送方法候補を取得する。始めに、輸送方法DB12001内の輸送発地名称12003と、商品在庫ファイル11001内の在庫拠点名称11002が一致するレコードを、輸送方法DB12001から全て抽出する(ステップ4002231)。次に、ステップ4002231で抽出した全てのレコードについて、輸送方法DB12001内の輸送着地名称12005と、配送方法候補ファイル15001内の配送拠点名称15003が一致するレコードを、輸送方法DB12001から全て抽出する。該当するレコードがない場合は、ステップ4002233に状態を移す(ステップ4002232)。さらに、ステップ4002231で抽出した全てのレコードの輸送着地名称12005を輸送発地名称とし、輸送候補ファイル15001内の配送拠点名称15003を輸送着地名称として、輸送経路を輸送方法DB12001から再帰的に取得する(ステップ4002233)。最後に、ステップ4002232およびステップ4002233で取得した全ての輸送経路を、輸送方法候補ファイル16001に格納する。図16に、輸送方法候補ファイル16001の論理構造を示す。在庫拠点名称16002と、輸送方法番号16003と、配送拠点名称16004を登録する。(ステップ4002234)。

【0040】(2.4)ステップ400224(輸配送方法候補の取得)

ステップ400222で取得した輸送方法候補ファイル15001およびステップ400223で取得した輸送方法候補ファイル16001に基づき、在庫拠点から届け先までの輸配送方法候補を取得し、輸配送方法候補ファイル17001に格納する。図17に、輸配送方法候補ファイル17001の論理構造を示す。在庫拠点名称

17002と、輸送方法番号17003と、配送方法番号17004を登録する。

【0041】(3)ステップ40023(輸配送時間算出)

ステップ400224で取得した輸配送方法候補ファイル17001内の全てのレコードについて、輸送方法DB12001と配送方法DB13001に基づいて、在庫拠点を発地とし配送先を着地とする輸配送経路の輸配送時間を算出する。

【0042】(4)ステップ40024(費用算出)

まず、ステップ400224で取得した輸配送方法候補ファイル17001内の全てのレコードについて、輸送方法DB12001と配送方法DB13001に基づいて、在庫拠点から届け先までの輸配送費用を算出する。この際、輸配送単価に基づいて算出する配送サービス料金の他に、関税や消費税等の諸経費を要する場合には、これも加味する。

【0043】(5)ステップ40025(配送サービス情報リスト作成)

輸配送方法候補ファイル17001内の全てのレコードについて、ステップ40023で算出した輸配送時間およびステップ40024で算出した費用を、配送サービス情報ファイル18001に格納する。図18に、配送サービス情報ファイル18001の論理構造を示す。配送予定日時18002と、配送サービス料金18003と、税金等18004と、合計金額18005を登録する。この際、配送サービス情報ファイル18001の各レコードについて、配送予定日時18002、配送サービス料金18003および料金18003の全ての組み合わせが同一であるレコードが複数存在する場合には、同一のレコードの内、一つのレコードを残して残りの全てのレコードを削除する。

【0044】以上、本実施例によれば、図1を用いて説明した実施例と同様に、サービスの利用者が、複数の配送サービス候補から、配送所要時間や費用等の条件を加味して、利用者の所望する配送サービスを選択することが可能となる。

【0045】

【発明の効果】サービスの利用者が、複数の配送サービス候補から、配送所要時間や費用等の条件を加味して、利用者の所望する配送サービスを選択することが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1の実施例を示す処理フロー図である。

【図2】オンライン・ショッピング・サービスシステムの装置構成図である。

【図3】本発明の第2の実施例を示す処理フロー図(クライアント)である。

【図4】本発明の第2の実施例を示す処理フロー図(サ

ーバ)である。

【図5】商品紹介情報の出力方法を示すイメージ図である。

【図6】配送条件設定画面を示すイメージ図である。

【図7】配送サービス情報の出力方法を示すイメージ図である。

【図8】配送手続き処理結果の出力方法を示すイメージ図である。

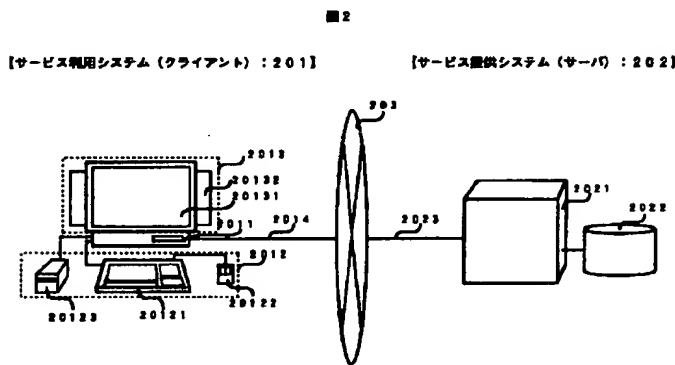
【図9】配送サービス情報の検索(ステップ40021)を示す処理フロー図である。

【図10】商品在庫DBの論理構造を示す図である。

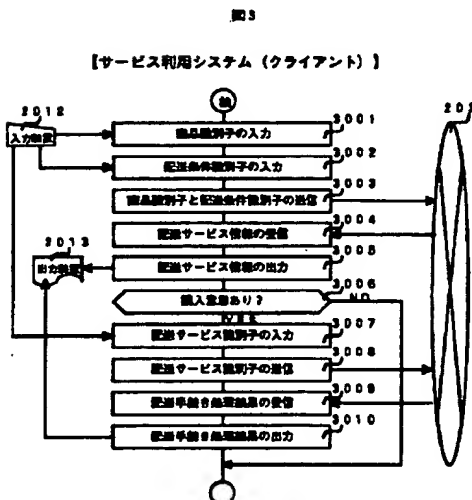
【図11】商品在庫情報ファイルの論理構造を示す図である。

【図12】輸送方法DBの論理構造を示す図である。

【図2】



【図3】



【図13】配送方法DBの論理構造を示す図である。

【図14】輸配送経路情報の取得(ステップ40022)を示す処理フロー図である。

【図15】配送方法候補ファイルの論理構造を示す図である。

【図16】輸送方法候補ファイルの論理構造を示す図である。

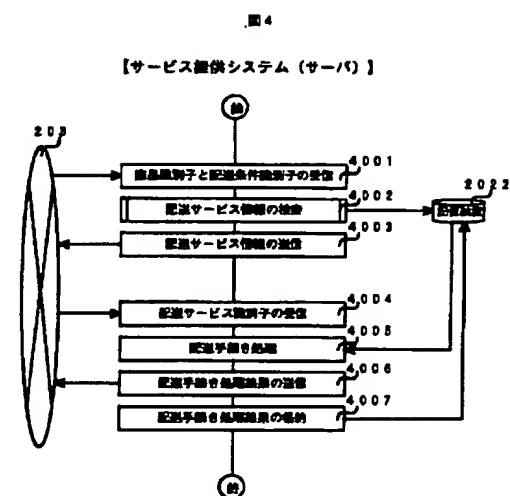
【図17】輸配送方法候補ファイルの論理構造を示す図である。

10 【図18】配送サービス情報ファイルの論理構造を示す図である。

【符号の説明】

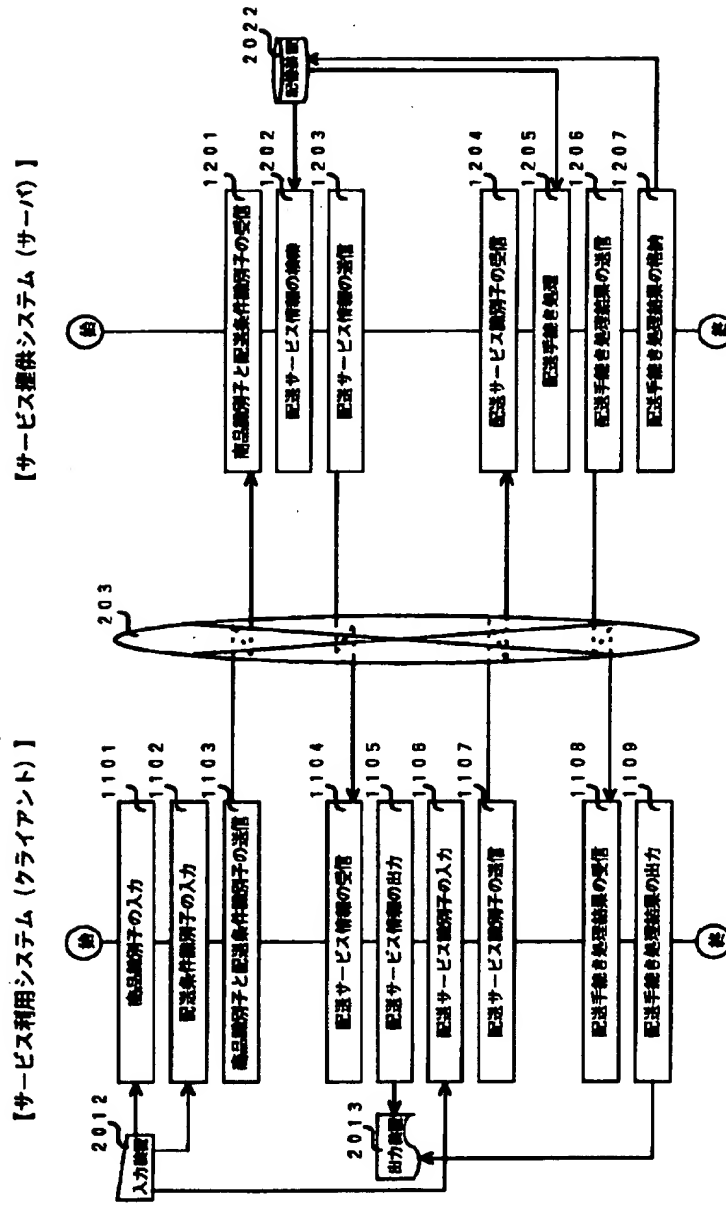
201…クライアント、202…サーバ。

【図4】



【図1】

図1



【図5】

図5

日立花壇 オンライン・ショッピング・サービス

商品名 : チューリップ (オランダ産)
商品番号 : 100001
標準価格 : ¥5,000

商品名 : ひまわり (日本産)
商品番号 : 100002
標準価格 : ¥5,000

5041 配送条件設定開始

【図6】

図6

日立花壇 オンライン・ショッピング・サービス

商品名 : チューリップ (オランダ産)
商品番号 : 100001
標準価格 : ¥5,000

商品名 : ひまわり (日本産)
商品番号 : 100002
標準価格 : ¥5,000

ご注文人
ご氏名: 日立 太郎
ご住所: 日本 千葉県市川市荒川
電話番号: 044-XXXX-XXXX

お届け先
ご氏名: 日立 太郎
ご住所: 日本 千葉県市川市荒川
電話番号: 044-XXXX-XXXX

配達希望日時
○ あり ☐ 月 ☐ 日 ☐ 時
● なし

お支払い方法
○ 現金 ☐ 銀行振込 ☐ 1000-XXXX-XXXX

5081 配送条件設定完了

【図7】

図7

701

702

703

704

705

706

707

708

7081

図7は「日立花壇」のオンラインショッピングサービスの画面を示す。画面の上部には「日立花壇」のロゴと「オンライン・ショッピング・サービス」のタイトルがある。左側には商品の写真と「商品名：チューリップ（オランダ産）」、「商品番号：1000001」、「価格：¥8,000」という情報が表示されている。右側には「お届け先」の欄があり、氏名、住所、電話番号の入力欄がある。また、「配達希望日時」の欄があり、曜日、月、日、時の選択が可能である。さらに、「お支払い方法」の欄があり、クレジットカードや現金などの選択が可能である。画面下部には「配達予定日時」の表があり、日、月、年、曜日、配達時間、配達料、送料、合計金額が示されている。画面右下には「配達予定日時を選択しました」というメッセージが表示されている。

配達予定日時	配達料	送料	合計金額
2000年12月1日 10:00	¥1,000	¥1,000	¥1,000
2000年12月1日 11:00	¥1,000	¥1,000	¥1,000
2000年12月1日 12:00	¥1,000	¥1,000	¥1,000
2000年12月1日 13:00	¥1,000	¥1,000	¥1,000
2000年12月1日 14:00	¥1,000	¥1,000	¥1,000
2000年12月1日 15:00	¥1,000	¥1,000	¥1,000
2000年12月1日 16:00	¥1,000	¥1,000	¥1,000
2000年12月1日 17:00	¥1,000	¥1,000	¥1,000
2000年12月1日 18:00	¥1,000	¥1,000	¥1,000
2000年12月1日 19:00	¥1,000	¥1,000	¥1,000
2000年12月1日 20:00	¥1,000	¥1,000	¥1,000
2000年12月1日 21:00	¥1,000	¥1,000	¥1,000
2000年12月1日 22:00	¥1,000	¥1,000	¥1,000
2000年12月1日 23:00	¥1,000	¥1,000	¥1,000

【図8】

図8

801

802

803

804

805

806

807

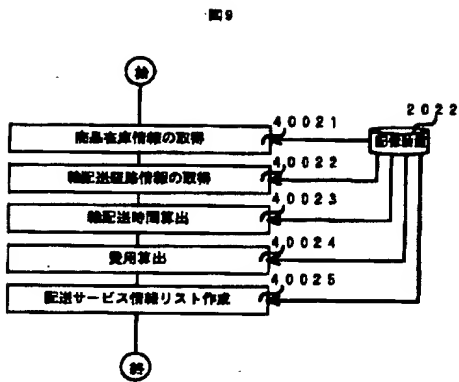
808

8081

図8は「日立花壇」のオンラインショッピングサービスの画面を示す。画面の上部には「日立花壇」のロゴと「オンライン・ショッピング・サービス」のタイトルがある。左側には商品の写真と「商品名：チューリップ（オランダ産）」、「商品番号：1000001」、「価格：¥8,000」という情報が表示されている。右側には「お届け先」の欄があり、氏名、住所、電話番号の入力欄がある。また、「配達希望日時」の欄があり、曜日、月、日、時の選択が可能である。さらに、「お支払い方法」の欄があり、クレジットカードや現金などの選択が可能である。画面下部には「配達予定日時」の表があり、日、月、年、曜日、配達時間、配達料、送料、合計金額が示されている。画面右下には「配達予定日時を選択しました」というメッセージが表示されている。

配達予定日時	配達料	送料	合計金額
2000年12月1日 10:00	¥1,000	¥1,000	¥1,000
2000年12月1日 11:00	¥1,000	¥1,000	¥1,000
2000年12月1日 12:00	¥1,000	¥1,000	¥1,000
2000年12月1日 13:00	¥1,000	¥1,000	¥1,000
2000年12月1日 14:00	¥1,000	¥1,000	¥1,000
2000年12月1日 15:00	¥1,000	¥1,000	¥1,000
2000年12月1日 16:00	¥1,000	¥1,000	¥1,000
2000年12月1日 17:00	¥1,000	¥1,000	¥1,000
2000年12月1日 18:00	¥1,000	¥1,000	¥1,000
2000年12月1日 19:00	¥1,000	¥1,000	¥1,000
2000年12月1日 20:00	¥1,000	¥1,000	¥1,000
2000年12月1日 21:00	¥1,000	¥1,000	¥1,000
2000年12月1日 22:00	¥1,000	¥1,000	¥1,000
2000年12月1日 23:00	¥1,000	¥1,000	¥1,000

【図9】



【図11】

図11

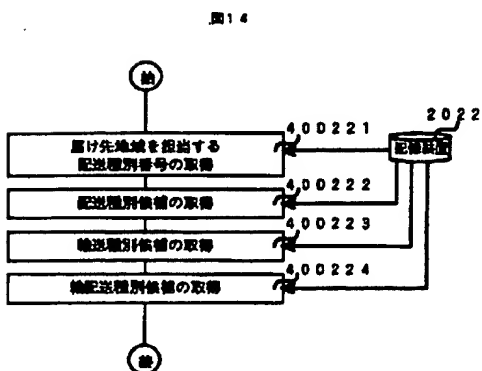
11002	11003	11004	11005	11006	11001
在庫拠点 名称	在庫拠点住所	在庫 数量	入荷予定日	入荷予定 数量	
日立札幌	日本 札幌市北区 x x x	100	00000000	0	
日立九州	日本 福岡市南区 x x x	200	00000000	0	
日立アリゾ	アメリカ Somerville, MA x x x	1000	00000000	0	

【図10】

図10

10002	10003	10004	10005	10006	10007	10001
商品番号	在庫拠点 名称	在庫拠点住所	在庫 数量	入荷予定日	入荷予定 数量	
100001	日立札幌	日本 札幌市北区 x x x	100	00000000	0	
100001	日立九州	日本 福岡市南区 x x x	200	00000000	0	
100001	日立アリゾ	アメリカ Somerville, MA x x x	1000	00000000	0	
100002	日立横浜	日本 横浜市新北区 x x x	0	19961225	300	
100002	日立札幌	日本 札幌市北区				
	⋮	⋮				

【図14】



【図16】

図16

16002	16003	16004	16001
在庫拠点 名称	輸送方法番号	輸送方法 番号	配送拠点 名称
日立札幌	JP0001	-	日立横浜
日立札幌	JP0001	-	日立横浜
日立札幌	JP0001	-	日立横浜
日立九州	JP0101	-	日立横浜
日立アリゾ	USA001	JP001	
⋮	⋮		

【図15】

図15

配送方法 番号	配送拠点 名称	配送形態	配送日 曜日	配送所要 時間	配送単価
15002	15003	15004	15005	15006	15007
15001					
AAA001	日立横浜	普通	10:00	8:00	¥200
AAA002	日立横浜	特急	12:00	2:00	¥400
AAA003	日立横浜	臨時	臨時	0:30	¥600

【図17】

図17

配送拠点 名称	配送方法番号	配送方法 番号
17002	17003	17004
17001		
日立札幌	JPR001	AAA001
日立札幌	JPR001	AAA002
日立札幌	JPR001	AAA003
日立九州	JPR010	AAA001
日立九州	JPR001	AAA001

【図18】

図18

配送予定日時	配送料・税金 料金	税金等	合計金額
18002	18003	18004	18005
18001			
19961210 18:00	¥ 900	¥ 177	¥ 6077
19961215 15:00	¥ 300	¥ 200	¥ 5500
19961212 9:00	¥ 500	¥ 165	¥ 5665
19961210 9:00	¥1000	¥ 180	¥ 6180
19961211 12:00	¥ 800	¥ 174	¥ 6074

フロントページの続き

(72)発明者 三原 克史
神奈川県横浜市都筑区加賀原二丁目2番
株式会社日立製作所ビジネスシステム開発
センタ内

(72)発明者 籠島 俊一
神奈川県川崎市幸区鹿島田890番地の12
株式会社日立製作所情報システム事業部内